

第3部

老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師別の 解析結果

1. 回答者の基本属性

1) 人数、性別(図 3-1-1, 図 3-1-2, 図 3-1-3)

老人看護専門看護師(以下、CNS)40名(男性 7.5%、女性 92.5%)、認知症看護認定看護師(以下、CN)71名(男性 15.5%、84.5%)であった。CN のほうに男性が多かった。

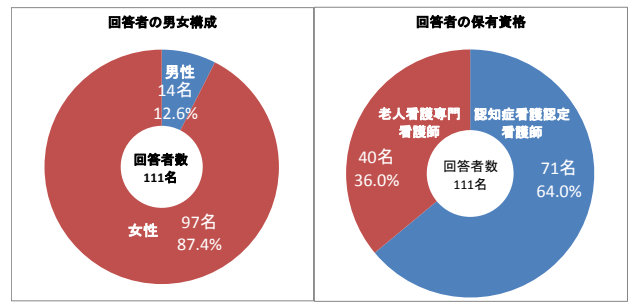


図 3-1-1 回答者の男女構成 図 3-1-2 回答者の保有資格

2) 年齢

CNS の平均年齢は 42.4 歳(SD6.3)、CNS の平均年齢は 42.8 歳(SD6.4)であった。

3) その他の保有資格(表 3-1-1)

回答者が保有する CNS、CN 以外の資格には、認知症ケア専門士 15 名、救急救命士 2 名、呼吸療法士 4 名などがあったが資格別の大差はなかった。

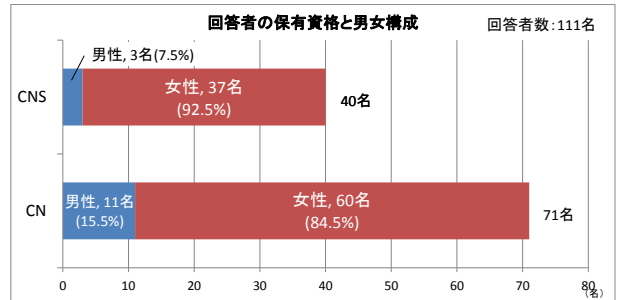


図 3-1-3 回答者の保有資格と男女構成

表 3-1-1 回答者の保有資格

	全体(n=111)	CNS(n=40)	CN (n=71)
認知症ケア専門士	15名(13.5%)	6名(15.0%)	9名(12.7%)
救急救命士	2名(1.8%)	0名(0.0%)	2名(2.8%)
呼吸療法認定士	4名(3.6%)	1名(2.5%)	3名(4.2%)
介護支援専門員	3名(2.7%)	1名(2.5%)	2名(2.8%)
糖尿病療養指導士	1名(0.9%)	0名(0.0%)	1名(1.4%)
社会福祉士	2名(1.8%)	1名(2.5%)	1名(1.4%)

4) これまでの臨床経験年数(表 3-1-2)

常勤換算 10~520 ヶ月(43 年 4 ヶ月)の幅があり、CNS の平均 200.6 ヶ月(約 16 年 9 ヶ月)(SD81.2)、CN の平均 213.3 ヶ月(約 17 年 9 か月)(SD78.8) であった。

5) 現在の所属機関での臨床経験年数(表 3-1-2)

常勤換算で 0~360 ヶ月(0~30 年)に分布し、CNS の平均 92.4 ヶ月(約 7 年 8 ヶ月)(SD65.9)、CN の平均 135.5 ヶ月(約年 11 年 4 か月)であった。

表 3-1-2 回答者の臨床経験年数(常勤換算)

6) CNS・CN としての臨床経験年数(表 3-1-2)

常勤換算で 1~250 ヶ月(1~20 年 10 ヶ月)に分布し、CNS の平均 45.0 ヶ月(3 年 9 ヶ月)(SD65.9)、CN の平均 34.9 ヶ月(約年 2 年 11 か月)であった。

	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
全臨床経験年数	208.7(80.3)	200.6(81.2)	213.3(78.8)
現在の所属の臨床経験年数	118.7(89.4)	92.4(65.9)	133.5(96.5)
CNS、CN としての臨床経験年数	38.0(38.4)	45.0(38.6)	34.9(37.5)

7) 現在の勤務形態(図 3-1-4)

CNS は常勤 39 名(97.5%)、CN は常勤 69 名(97.2%)であった。

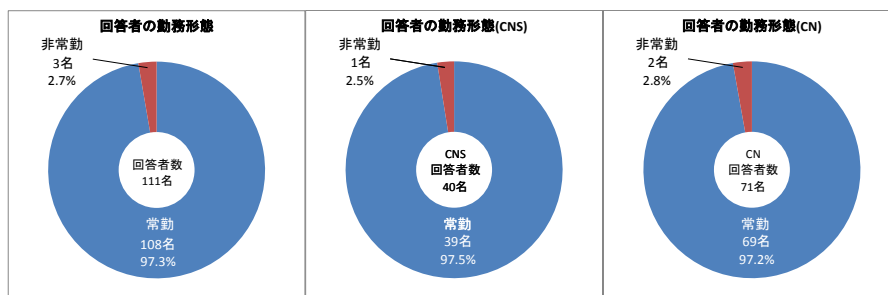


図 3-1-4 回答者の勤務形態

8) 現在の職位(図 3-1-5)

CNS はスタッフが 16 名(40.0%)、主任・副師長相当職が 12 名(30.0%)、師長相当職が 7 名(17.5%)、副部長相当職が 3 名(7.5%)、部長相当職が 2 名(5.0%)であった。

CN はスタッフが 37 名(52.1%)、主任・副師長相当職が 23 名(32.4%)、師長相当職が 10 名(14.1%)、副部長相当職が 1 名(1.4%)、部長相当職は 0 名(0.0%)であった。CNS は部長・副部長相当職が多く、CN はスタッフの割合が高かった。

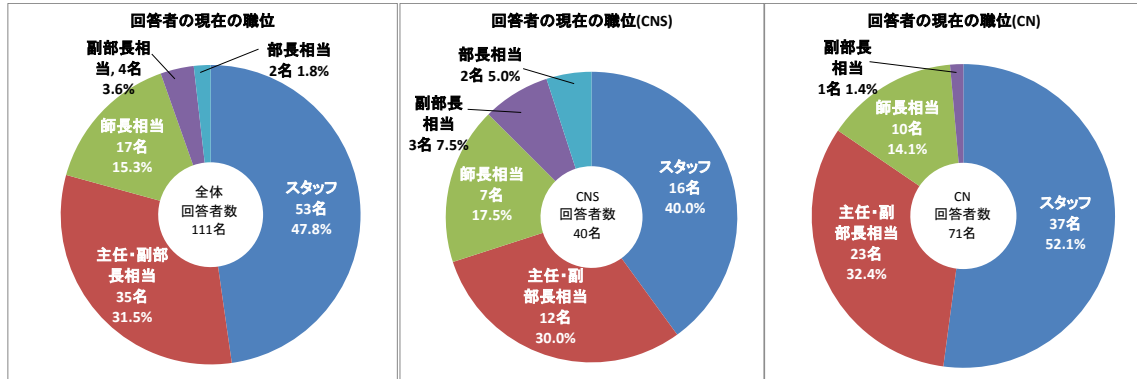


図 3-1-5 回答者の現在の職位

9) 勤務形態(表 3-1-3, 図 3-1-6)

CNS は病棟配属でスタッフとして勤務する者が 10 名(20.4%)、病棟配属の管理者(主任、師長など)が 8 名(16.3%)、看護部所属で院内でフリーに勤務する者が 12 名(24.5%)、外来配属でスタッフとして勤務する者・外来配属の管理者(主任、師長など)として勤務する者が各 1 名(2.0%)、看護部所属で教育・管理業務の者が 7 名(14.3%)、その他 10 名(20.4%)であった。

CN は病棟配属でスタッフとして勤務する者が 37 名(45.7%)、病棟配属の管理者(主任、師長など)が 20 名(24.7%)、看護部所属で院内でフリーに勤務する者が 2 名(2.5%)、外来配属でスタッフとして勤務する者・外来配属の管理者(主任、師長など)として勤務する者が各 0 名(0.0%)、看護部所属で教育・管理業務の者が 7 名(8.6%)、その他 15 名(18.5%)であった。CNS は院内フリーの勤務形態が多かった。

表 3-1-3 回答者の勤務形態(複数回答)

	全体(n=130)	CNS(n=49)	CN(n=81)
病棟配属	管理者	8 名(16.3%)	20 名(24.7%)
	スタッフ	10 名(20.4%)	37 名(45.7%)
看護部所属	教育・管理業務	7 名(14.3%)	7 名(8.6%)
	院内フリー	12 名(24.5%)	2 名(2.5%)
外来配属	管理者	1 名(2.0%)	0 名(0.0%)
	スタッフ	1 名(2.0%)	0 名(0.0%)
その他	25 名(19.2%)	10 名(20.4%)	15 名(18.5%)

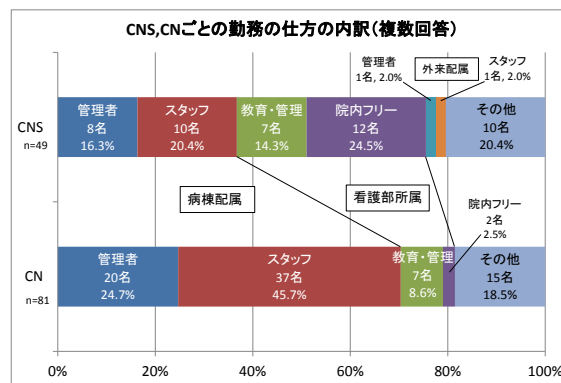


図 3-1-6 回答者の勤務形態の内訳(複数回答)

2. 勤務している機関の特性について

1) 設置主体(図 3-2-1)

CNSは国立が3名(7.5%)、公立(県立・市立・町立など)が6名(15.0%)、学校法人4名(10.0%)、医療法人9名(22.5%)、社会福祉法人4名(10.0%)、一般社団法人3名(7.5%)、公益法人5名(12.5%)、株式会社2名(5.0%)、その他4名(10.0%)であった。

CNは国立が3名(4.2%)、公立(県立・市立・町立など)が9名(12.7%)、学校法人6名(8.5%)、医療法人25名(35.2%)、社会福祉法人5名(7.0%)、一般社団法人3名(4.2%)、公益法人8名(11.3%)、株式会社2名(2.8%)、その他10名(14.1%)であった。CNは医療法人に勤務する者が多かった。

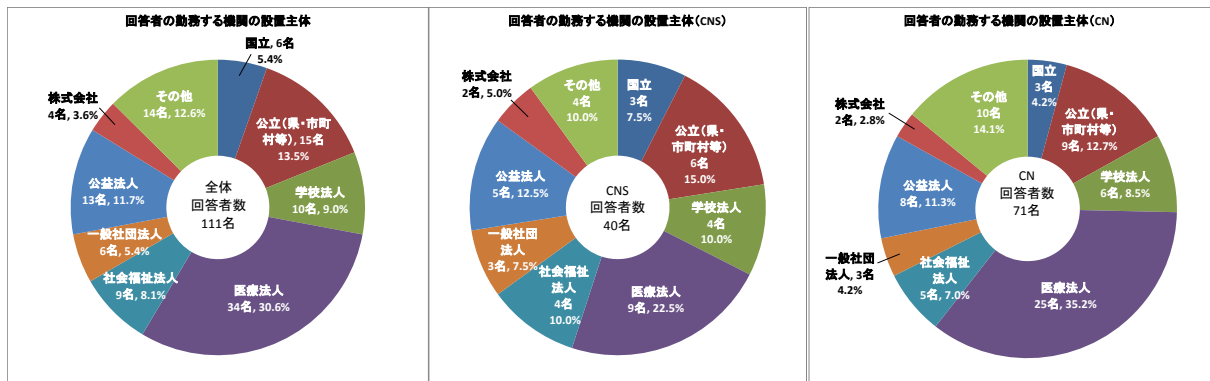


図 3-2-1 回答者の勤務する機関の設置主体

2) 勤務する機関の種類(図 3-2-2)

CNSは大学附属病院5名(12.5%)、がん拠点病院5名(12.5%)、ナショナルセンター0名(0.0%)、一般病院17名(42.5%)、精神科病院1名(2.5%)、療養型病院/病床4名(10.0%)、介護老人保健施設1名(2.5%)、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)3名(7.5%)、その他4名(10.0%)であった。

CNは大学附属病院7名(9.9%)、がん拠点病院3名(4.2%)、ナショナルセンター1名(1.4%)、一般病院28名(39.4%)、精神科病院7名(9.9%)、療養型病院/病床8名(11.3%)、無床診療所6名(8.5%)、介護老人保健施設1名(1.4%)、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)1名(1.4%)、その他9名(12.7%)であった。

CNSはがん拠点病院、CNは精神科と無床診療所に勤務する者の割合が高かった。

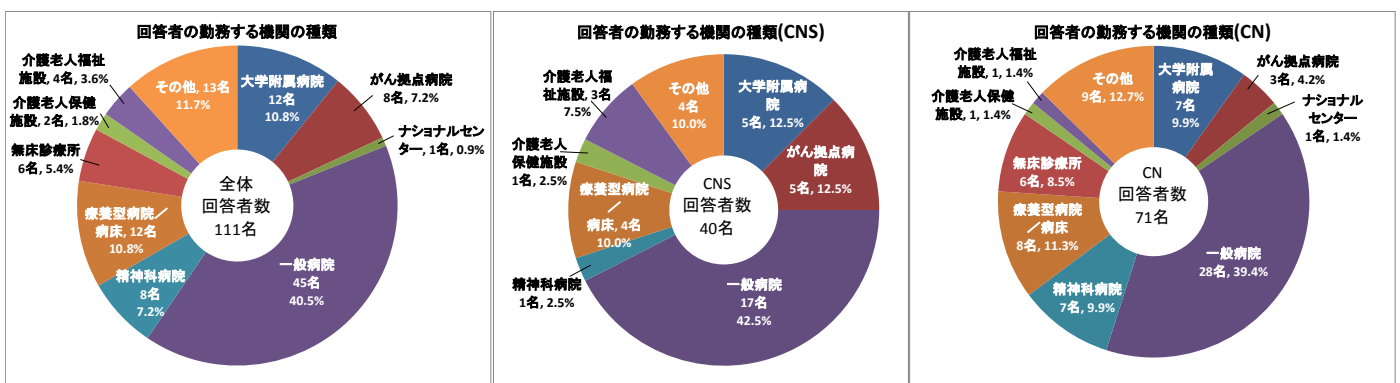


図 3-2-2 回答者の勤務する機関の種類

3) 医療機関の病床数と内訳(表 3-2-1)

CNS の平均病床数は 473.5 床(SD296.1)であり、医療機関の種類別では、医療保険療養病床 409.0 床(SD399.5)、介護保険療養病床 119.0 床(SD81.4)、一般病床 380.0 床(SD333.3)、老人性認知症疾患療養病床 155.8 床(SD110.5)、結核病床 9.7 床(SD8.9)、感染症病床 3.0 床(SD3.0)、精神病床 46.9 床(SD19.8)、回復期リハビリテーション病床 60.4 床(SD74.7)、ICU12.9 床(SD10.5)、HCU10.5 床(SD8.8)、ホスピス 11.0 床(SD11.0)、救急病床 29.0 床(SD9.0)、その他 33.4 床(SD44.3)であった。

CN の平均病床数は 406.6 床(SD231.7)であり、医療機関の種類別では、医療保険療養病床 150.1 床(SD154.8)、介護保険療養病床 49.9 床(SD79.5)、一般病床 385.9 床(SD425.8)、老人性認知症疾患療養病床 63.5 床(SD92.9)、結核病床 5.6 床(SD15.7)、感染症病床 3.2 床(SD4.5)、精神病床 111.2 床(SD116.0)、回復期リハビリテーション病床 37.1 床(SD27.7)、ICU7.6 床(SD7.4)、HCU9.4 床(SD9.0)、ホスピス 6.7 床(SD10.5)、救急病床 42.0 床(SD0.0)、その他 24.5 床(SD32.2)であった。CNS が勤務する医療保険療養病床 409 床、介護保険療養病床 119 床、老人性認知症疾患療養病床 115 床は CN が勤務するこれらよりも病床数が多く、CN が勤務する精神科は 111 床と、CNS が勤務する精神科よりも病床数が多かった。

表 3-2-1 資格別医療機関の病床数の平均

	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
機関全体	431.6(261.2)	473.5(296.1)	406.6(231.7)
医療保険療養病床	242.5(301.8)	409.0(399.5)	150.1(154.8)
介護保険療養病床	79.0(89.7)	119.0(81.4)	49.9(79.5)
一般病床	383.8(398.2)	380.0(333.3)	385.9(425.8)
老人性認知症疾患療養病床	96.1(112.2)	155.8(110.5)	63.5(92.9)
結核病床	7.2(14.0)	9.7(8.9)	5.6(15.7)
感染症病床	3.1(4.2)	3.0(3.0)	3.2(4.5)
精神病床	94.0(105.6)	46.9(19.8)	111.2(116.0)
回復期リハビリテーション病床	42.9(46.4)	60.4(74.7)	37.1(27.7)
ICU	9.4(9.0)	12.9(10.5)	7.6(7.4)
HCU	9.7(9.1)	10.5(8.8)	9.4(9.0)
ホスピス	7.9(11.2)	11.0(11.0)	6.7(10.5)
救急病床	33.3(11.7)	29.0(9.0)	42.0(0.0)
その他	27.9(38.7)	33.4(44.3)	24.5(32.2)

4) 患者ケアの看護体制(複数回答)(図 3-2-2)

CNS は固定チームナーシング 23 名(57.5%)、非固定チームナーシング 3 名(7.5%)、プライマリナーシング(受け持ち制)11 名(27.5%)、モジュール型看護方式 3 名(7.5%)、機能別看護方式 5 名(12.5%)、その他として、パートナー型 3 名(7.5%)、小チーム共同型 0 名(0.0%)であった。

CN は固定チームナーシング 34 名(47.9%)、非固定チームナーシング 6 名(8.5%)、プライマリナーシング(受け持ち制)21 名(29.6%)、モジュール型看護方式 1 名(1.4%)、機能別看護方式 6 名(8.5%)、パートナー型 1 名(1.4%)、小チーム共同型 1 名(1.4%)であった。看護体制には両群での違いはほとんどなかった。

表 3-2-2 勤務機関における患者ケアの看護体制(複数回答)

	全体(n=111)	CNS(n=40)	CN(n=71)
固定チーム	57(51.4%)	23(57.5%)	34(47.9%)
非固定チーム	9(8.1%)	3(7.5%)	6(8.5%)
受持制	32(28.8%)	11(27.5%)	21(29.6%)
モジュール型看護方式	4(3.6%)	3(7.5%)	1(1.4%)
機能別看護方式	11(9.9%)	5(12.5%)	6(8.5%)
パートナーシップ	4(3.6%)	3(7.5%)	1(1.4%)
小チーム共同体制	1(0.9%)	0(0.0%)	1(1.4%)

5) 所属機関の専門職員数(常勤換算)(表 3-2-3)

CNS が所属する機関の専門職員の平均人数は、医師 160.9 名(SD251.0)、看護師 359.9 名(SD343.9)、准看護師 13.3 名(SD15.3)、薬剤師 17.2 名(SD16.9)、理学療法士 20.7 名(SD34.8)、作業療法士 10.4 名(SD18.6)、言語聴覚

士 4.1 名(SD6.3)、管理栄養士 5.6 名(SD6.4)、放射線技師 12.0 名(SD13.1)、看護補助者 38.9 名(SD33.9)、介護職員 55.2 名(SD93.2)、社会福祉士 5.0 名(SD7.6)、介護支援専門員 3.6 名(SD4.7)、その他 94.9 名(SD126.4)であった。

CN が所属する機関の専門職員の平均人数は、医師 58.5 名(SD73.3)、看護師 270.6 名(SD256.9)、准看護師 15.7 名(SD18.2)、薬剤師 14.2 名(SD13.3)、理学療法士 14.9 名(SD11.6)、作業療法士 8.6 名(SD6.5)、言語聴覚士 3.3 名(SD2.4)、管理栄養士 4.6 名(SD4.6)、放射線技師 12.5 名(SD11.7)、看護補助者 27.9 名(SD29.1)、介護職員 37.1 名(SD64.9)、社会福祉士 4.3 名(SD3.2)、介護支援専門員 5.9 名(SD18.5)、その他 36.7 名(SD39.6)であった。

CNS が勤務する医療機関では、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、介護職員の配置人数が CN が勤務する機関よりも多かった。

表 3-2-3 所属機関の医師数と専門職員数(常勤換算)

	平均値(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
医師数	96.1(171.6)	160.9(251.0)	58.5(73.3)
うち			
精神科医	3.9(6.3)	4.0(6.1)	3.9(6.3)
神経内科医	3.3(5.3)	3.4(5.3)	3.3(5.3)
老年科医	0.5(0.9)	0.7(1.0)	0.3(0.7)
看護師	303.5(297.1)	359.9(343.9)	270.6(256.9)
准看護師	14.9(17.4)	13.3(15.3)	15.7(18.2)
薬剤師	15.3(14.9)	17.2(16.9)	14.2(13.3)
理学療法士	17.0(23.1)	20.7(34.8)	14.9(11.6)
作業療法士	9.2(12.2)	10.4(18.6)	8.6(6.5)
言語聴覚士	3.6(4.3)	4.1(6.3)	3.3(2.4)
管理栄養士	5.0(5.4)	5.6(6.4)	4.6(4.6)
放射線技師	12.3(12.3)	12.0(13.1)	12.5(11.7)
看護補助者	31.7(31.6)	38.9(33.9)	27.9(29.1)
介護職員	43.4(77.2)	55.2(93.2)	37.1(64.9)
社会福祉士	4.6(5.3)	5.0(7.6)	4.3(3.2)
介護支援専門員	5.0(14.8)	3.6(4.7)	5.9(18.5)
その他	57.4(87.4)	94.9(126.4)	36.7(39.6)

6) 入院基本料の看護体制(表 3-2-4)

CNS が所属する機関の入院基本料は 7 対 1 が 19(79.2%)、10 対 1 が 3(12.5%)、13 対 1 が 1(4.2%)、15 対 1 が 1(4.2%)であった。

CN が所属する機関の入院基本料は 7 対 1 が 31(77.5%)、10 対 1 が 6(15.0%)、13 対 1 が 1(2.5%)、15 対 1 が 2(5.0%)であった。

表 3-2-4 入院基本料の看護体制

	全体	CNS	CN
7 対 1 入院基本料	50(78.1%)	19(79.2%)	31(77.5%)
10 対 1 入院基本料	9(14.1%)	3(12.5%)	6(15.0%)
13 対 1 入院基本料	2(3.1%)	1(4.2%)	1(2.5%)
15 対 1 入院基本料	3(4.7%)	1(4.2%)	2(5.0%)

7) 2014 年 2 月 1 ヶ月間の院内の全入院患者数(表 3-2-5)

CNS が勤務する機関の全入院患者数の平均値は 1097.7 人(SD1841.9)で、CN が勤務する機関の全入院患者数の平均値は 1495.7 人(SD3813.2)と、CN が勤務する医療機関の入院患者の方が多かった。

8) 2014 年 2 月 1 ヶ月間の院内の全退院患者数(表 3-2-5)

CNS が所属する機関の全退院患者数の平均値は 388.3 人(SD415.3)で、CN が所属する機関の全退院患者数の平均値は 314.7 人(SD345.4)と、CNS が属する機関の退院患者数の方が若干多かった。

表 3-2-5 院内の全入退院患者数(1 ヶ月あたり)

	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
全入院患者数	1347.3(3255.8)	1097.7(1841.9)	1495.7(3813.2)
全退院患者数	341.8(377.7)	388.3(415.3)	314.7(345.4)

9) 病棟/ユニット等の1看護ケア単位の病床数(表 3-2-6)

CNS 勤務機関は平均 74.7 床(SD120.6)、CN 勤務機関は平均 46.9 床(SD10.5)で、CNS が勤務する機関の方が1看護ケアあたりの病床数は多かった。

10) 医療機関全体の病棟/ユニット数(表 3-2-6)

CNS 勤務機関における平均 11.2(SD8.7)、CN 勤務機関における平均は 14.4(SD29.1)で両者の差は少なかった。

表 3-2-6 病棟/ユニット数

	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
1 看護ケア単位の病床数	56.9 床(74.6)	74.7 床(120.6)	46.9 床(10.5)
全病棟/ユニット数	13.2(24.1)	11.2(8.7)	14.4(29.1)

11) 日勤帯の看護師が受け持つ患者数(表 3-2-7)

CNS の日勤帯の受け持ち患者数は平均 7.4 人(SD2.8)、CN の日勤帯の受け持ち患者数は平均 7.8 人(SD3.5) と両者に差はなかった。

12) 夜間(深夜)勤務帯の看護師が受け持つ患者数(表 3-2-7)

CNS の夜間勤務帯の受け持ち患者数は平均 22.5 人(SD11.6)、CN の夜間勤務帯の受け持ち患者数は平均 23.9 人(SD14.2) で、CN の方が多かった。

表 3-2-7 看護師の受け持つ患者数

	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
日勤帯	7.7(3.3)	7.4(2.8)	7.8(3.5)
夜間(深夜)勤務帯	23.4(13.4)	22.5(11.6)	23.9(14.2)

3. 病棟/ユニットの入院患者について

1) 2014年2月のある一日の入院患者の入院時の日常生活行動(ADL)の自立度(図3-3-1)

CNSが勤務する病棟/ユニットの自立度別入院患者数の平均は全介助15.5名、半介助17.1名、自立11.1名、CNは全介助19.5名、半介助18.5名、自立12.5名で、両者に差はほとんどなかった。

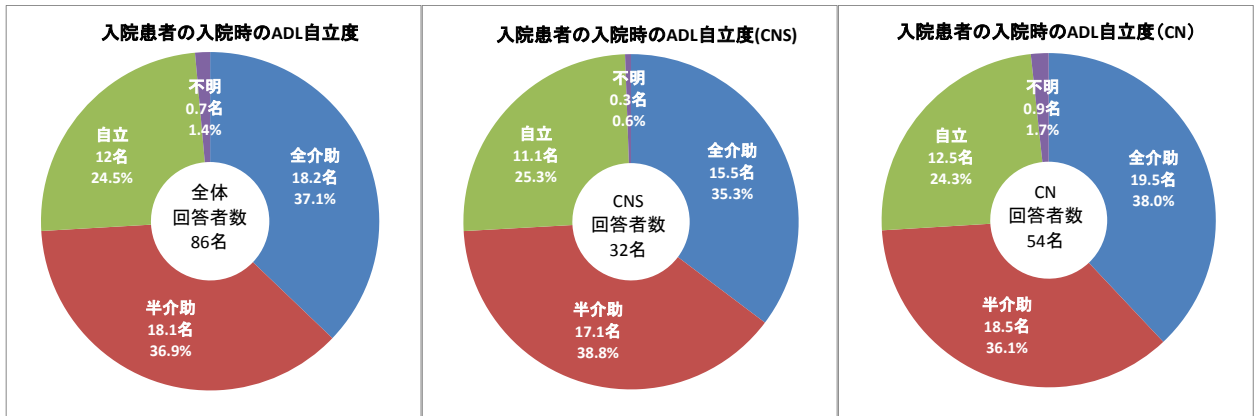


図 3-3-1 入院患者の入院時の ADL 自立度

2) 2014年1月のある一日の入院患者の入院時の介護保険制度の要介護度(図3-3-2)

CNSの要介護度別患者数平均は要介護5 5.0人、要介護4 4.6人、要介護3 4.6人、要介護2 3.8人、要介護1 2.8人、要支援2 2.1人、要支援1 1.4人、CNは要介護5 5.0人、要介護4 4.3人、要介護3 5.1人、要介護2 4.3人、要介護1 3.0人、要支援2 1.2人、要支援1 1.0人で、両者に差はほとんどなかった。

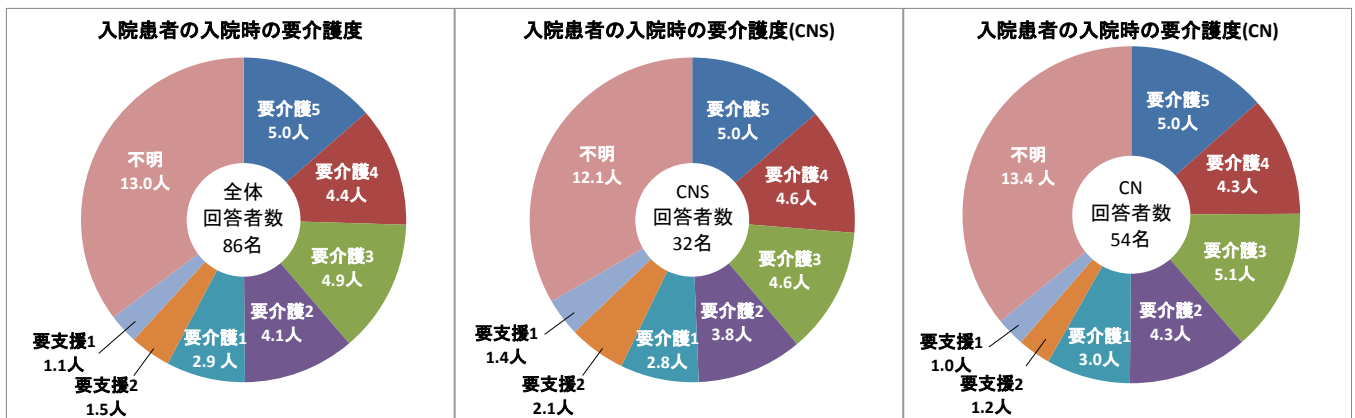


図 3-3-2 入院患者の入院時の要介護度

3) 2014年1月のある一日の入院患者のうち、認知症のない患者数、およびアルツハイマー病、またはアルツハイマー型認知症と診断を受けている患者の入院時の認知症の程度(FAST分類)別の人数(表3-3-1)

CNSの入院患者の入院時FAST分類は正常21.0人(SD26.4)、年齢相応4.3人(SD3.3)、境界状態3.7人(SD2.8)、軽症認知症3.6人(SD3.0)、中等認知症4.1人(SD5.2)、高度認知症5.0人(SD6.2)、重度認知症7.1人(SD10.6)、CNは正常16.8人(SD17.7)、年齢相応4.7人(SD9.6)、境界状態2.1人(SD3.8)、軽症認知症2.3人(SD2.5)、中等認知症3.9人(SD3.4)、高度認知症5.6人(SD6.4)、重度認知症4.2人(SD5.4)で、CNSに「正常」、「重度認知症」者数が多かった。

表 3-3-1 入院患者の入院時 FAST 分類

FAST 分類	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
正常	18.0(20.9)	21.0(26.4)	16.8(17.7)
年齢相応	4.6(8.3)	4.3(3.3)	4.7(9.6)
境界状態	2.6(3.6)	3.7(2.8)	2.1(3.8)
軽症認知症	2.8(2.8)	3.6(3.0)	2.3(2.5)
中等認知症	4.0(4.2)	4.1(5.2)	3.9(3.4)
高度認知症	5.4(6.4)	5.0(6.2)	5.6(6.4)
重度認知症	5.2(7.8)	7.1(10.6)	4.2(5.4)
不明	9.9(14.6)	11.4(13.7)	9.5(14.5)

4) 2014年1月のある一日の入院患者の入院時の年齢階級別人数(表 3-3-2)

CNSの入院患者の入院時年齢階級別人数の平均は64歳以下12.1人(SD9.2)、65歳以上74歳以下12.3人(SD8.2)、75歳以上29.2人(SD26.1)、CNは64歳以下7.8人(SD8.6)、65歳以上74歳以下9.1人(SD5.6)、75歳以上32.4人(SD40.6)で、CNに75歳以上の入院患者の割合が高かった。

表 3-3-2 入院患者の入院時の年齢階級別人数

	全体(SD)	CNS	CN
64歳以下	9.2(9.1)	12.1(9.2)	7.8(8.6)
65～74歳	10.1(6.8)	12.3(8.2)	9.1(5.6)
75歳以上	31.3(36.8)	29.2(26.1)	32.4(40.6)

5) 2014年1月のある一日の入院患者の入院直前の生活場所(表 3-3-3)

CNSの入院患者の入院直前の生活場所の平均数は自宅26.9名(SD14.0)、医療機関11.2名(SD15.2)、介護老人福祉施設4.1名(SD7.4)、介護老人保健施設2.4名(SD1.6)、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)0.5名(SD0.5)、サービス付き高齢者向け住宅0.4名(SD0.5)、軽費老人ホーム(ケアハウス等)1.2名(SD1.9)、有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護1.3名(SD1.7)、特養3.0名(SD0.0)、障害者施設1.0名(SD0.0)、他病棟0.0名(SD0.0)、ホームレス0.0名(SD0.0)、託老所1.0名(SD0.0)、不明0.0名(SD0.0)、
CNは自宅28.9名(SD17.7)、医療機関8.8名(SD11.7)、介護老人福祉施設2.6名(SD2.7)、介護老人保健施設2.1名(SD2.1)、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)1.4名(SD2.3)、サービス付き高齢者向け住宅0.9名(SD2.2)、軽費老人ホーム(ケアハウス等)0.5名(SD0.9)、有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護0.6名(SD0.9)、特養1.5名(SD0.5)、障害者施設1.0名(SD0.0)、他病棟13.0名(SD0.0)、ホームレス1.0名(SD0.0)、託老所0.0名(SD0.0)、不明8.3名(SD18.6)であった。

表 3-3-3 入院患者の入院直前の生活場所

入院直前の生活場所	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
自宅	28.3(16.8)	26.9(14.0)	28.9(17.7)
医療機関	9.6(13.1)	11.2(15.2)	8.8(11.7)
介護老人福祉施設	3.0(4.7)	4.1(7.4)	2.6(2.7)
介護老人保健施設	2.2(2.0)	2.4(1.6)	2.1(2.1)
グループホーム	1.2(2.1)	0.5(0.5)	1.4(2.3)
サ高住	0.8(2.0)	0.4(0.5)	0.9(2.2)
軽費老人ホーム	0.6(1.2)	1.2(1.9)	0.5(0.9)
有料老人ホーム	0.8(1.2)	1.3(1.7)	0.6(0.9)
特別養護老人ホーム	2.0(1.0)	3.0(0.0)	1.5(0.5)
障害者施設	1.0(0.0)	1.0(0.0)	1.0(0.0)
他病棟	13.0(-)	-(-)	13.0(0.0)
ホームレス	1.0(-)	-(-)	1.0(0.0)
託老所	1.0(0.0)	1.0(0.0)	-(-)
不明	8.3(20.4)	-(-)	8.3(18.6)

6) 2014年2月のある一日の勤務する病棟/ユニットの患者の退院先(表3-3-4, 図3-3-3)

CNSの入院患者の退院先の平均値は入院前と同じ場所へ退院した者12.2名(SD11.7)、転院した者3.9名(SD4.5)、施設入所2.6名(SD2.4)、死亡退院1.5名(SD1.6) 不明8.8名(SD10.4)、CNは入院前と同じ場所へ退院した者7.3名(SD11.4)、転院した者2.1名(SD4.7)、施設入所2.8名(SD8.5)、死亡退院0.4名(SD0.9) 不明4.2名(SD5.8)で、CNSの方に入院前と同じ場所に退院した患者数が多かった。

表3-3-4 回答者が勤務する病棟/ユニットの患者の退院先

退院先	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
入院前と同じ	8.8(11.8)	12.2(11.7)	7.3(11.4)
転院	2.7(4.8)	3.9(4.5)	2.1(4.7)
施設入所	2.8(7.5)	2.6(2.4)	2.8(8.5)
死亡退院	0.8(1.3)	1.5(1.6)	0.4(0.9)
不明	5.3(7.8)	8.8(10.4)	4.2(5.8)

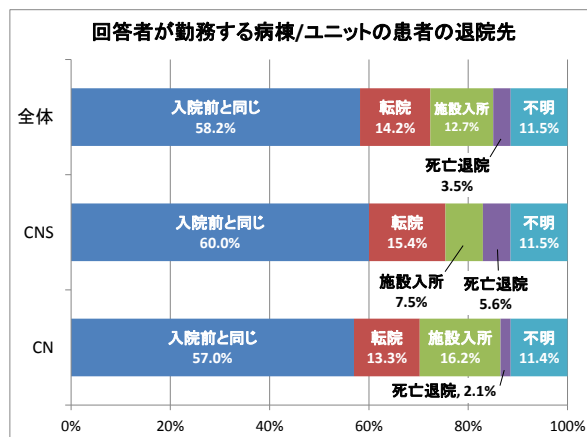


図3-3-3 回答者が勤務する病棟/ユニットの患者の退院先

7) あなたが勤務する医療機関が診療報酬請求で算定したチーム医療の状況

表3-3-5～表3-3-6に示したように、重度認知症患者デイ・ケア料、重度認知症加算、地域連携認知症支援加算、地域連携認知症集中治療加算、認知症治療病棟入院料、認知症治療病棟退院調整加算などの認知症関連の診療報酬に関連したチームを持つ医療機関は、いずれも少ないが、CNが勤務する機関では算定が行われていた。

表3-3-5 勤務する医療機関が診療報酬請求で算定したチーム医療の状況(CNS)

診療報酬名	院内チームのある 医療機関数	算定患者のある 医療機関	チームのメンバー である回答者数	算定した患者数の 平均(SD)
【230-4】精神科リエゾンチーム加算	3 (10.3%)	4 (21.1%)	4 (23.5%)	19.5人 (10.5)
【A233-2】栄養サポートチーム加算	18 (66.7%)	8 (38.1%)	5 (20.0%)	5.3人 (3.6)
【A242】呼吸ケアチーム加算	10 (34.5%)	7 (33.3%)	2 (9.5%)	0.8人 (0.8)
【A236】褥瘡ハイリスク患者ケア加算	19 (65.5%)	11 (44.0%)	3 (12.0%)	6.0人 (2.6)
【A234-2】感染防止対策加算	23 (79.3%)	14 (60.9%)	3 (11.1%)	18.6人 (20.4)
【早期リハビリテーション加算】	5 (18.5%)	15 (71.4%)	0 (0.0%)	38.1人 (48.6)
【H001】脳血管疾患等リハビリテーション料	4 (14.8%)	16 (72.7%)	0 (0.0%)	40.2人 (35.5)
【H002】運動器リハビリテーション料	4 (14.8%)	16 (72.7%)	0 (0.0%)	39.5人 (40.7)
【H003】呼吸器リハビリテーション料	4 (14.8%)	15 (68.2%)	0 (0.0%)	5.0人 (8.2)
【H003-2】リハビリテーション総合計画評価料	8 (29.6%)	19 (86.4%)	1 (5.3%)	8.4人 (11.2)
【H004】摂食機能療法	13 (44.8%)	16 (72.7%)	5 (23.8%)	11.7人 (11.7)
【I015】重度認知症患者デイ・ケア料	1 (3.6%)	1 (5.0%)	1 (6.3%)	25.0人 (0.0)
【A104に加算】重度認知症加算	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	-
【A233】栄養管理実施加算	7 (28.0%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	-
【A238-8】地域連携認知症支援加算	1 (4.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	-
【A238-9】地域連携認知症集中治療加算	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	-
【A240】総合評価加算	3 (12.0%)	5 (25.0%)	1 (6.7%)	8.5人 (4.5)
【A314】認知症治療病棟入院料				
1. 認知症治療病棟入院料 1				
イ 30日以内の期間	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (7.1%)	2.0人 (0.0)
ロ 31日以上 60日以内の期間	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (8.3%)	15.0人 (0.0)
ハ 61日以上	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (7.1%)	24.0人 (0.0)
2. 認知症治療病棟入院料 2				
イ 30日以内の期間	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	-
ロ 31日以上 60日以内の期間	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	-
ハ 61日以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	-
【238】認知症治療病棟退院調整加算	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	-
【B005-1-2】介護支援連携指導料	7 (9.6%)	9 (39.1%)	3 (18.8%)	3.4人 (6.8)
【B005】退院時共同指導料	5 (6.8%)	7 (31.8%)	1 (6.7%)	1.6人 (1.7)
【238-2】急性期病棟等退院調整加算	9 (12.5%)	10 (43.5%)	2 (11.1%)	9.6人 (11.3)
【介護保険】看取り介護加算	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	-

表 3-3-6 勤務する医療機関が診療報酬請求で算定したチーム医療の状況(CN)

診療報酬名	院内チームのある医療機関数	算定患者のある医療機関	チームのメンバーである回答者数	算定した患者数の平均(SD)
【230-4】精神科リエゾンチーム加算	6 (11.8%)	3 (8.6%)	6 (20.0%)	7.3 人 (10.4)
【A233-2】栄養サポートチーム加算	31 (60.8%)	14 (35.9%)	2 (5.1%)	10.6 人 (13.0)
【A242】呼吸ケアチーム加算	8 (12.7%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)	0.3 人 (0.4)
【A236】褥瘡ハイリスク患者ケア加算	31 (23.8%)	17 (39.5%)	1 (2.5%)	20.9 人 (50.4)
【A234-2】感染防止対策加算	44 (28.7%)	25 (54.3%)	0 (0.0%)	147.2 人 (516.6)
【早期リハビリテーション加算】	17 (6.4%)	20 (52.6%)	2 (5.4%)	158.9 人 (353.6)
【H001】脳血管疾患等リハビリテーション料	18 (5.1%)	24 (58.5%)	2 (5.6%)	218.8 人 (507.9)
【H002】運動器リハビリテーション料	21 (5.1%)	25 (62.5%)	2 (5.6%)	217.2 人 (610.6)
【H003】呼吸器リハビリテーション料	17 (5.1%)	17 (44.7%)	0 (0.0%)	17.1 人 (32.1)
【H003-2】リハビリテーション総合計画評価料	22 (10.4%)	23 (53.5%)	2 (5.4%)	14.7 人 (19.9)
【H004】摂食機能療法	25 (16.3%)	23 (54.8%)	2 (5.6%)	59.4 人 (208.9)
【I015】重度認知症患者デイ・ケア料	1 (1.3%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	8.7 人 (6.1)
【A104 に加算】重度認知症加算	1 (0.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	9.0 人 (9.0)
【A233】栄養管理実施加算	18 (9.2%)	6 (17.1%)	0 (0.0%)	44.3 人 (42.5)
【A238-8】地域連携認知症支援加算	2 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 人 (0.0)
【A238-9】地域連携認知症集中治療加算	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0.0 人 (0.0)
【A240】総合評価加算	10 (4.1%)	11 (29.7%)	1 (3.4%)	28.0 人 (63.5)
【A314】認知症治療病棟入院料				
1. 認知症治療病棟入院料 1				
イ 30 日以内の期間	2 (4.3%)	3 (9.7%)	0 (0.0%)	1.5 人 (1.5)
ロ 31 日以上 60 日以内の期間	2 (4.4%)	2 (6.9%)	1 (3.8%)	1.5 人 (1.7)
ハ 61 日以上の期間	3 (6.8%)	2 (7.1%)	1 (3.8%)	15.3 人 (24.2)
2. 認知症治療病棟入院料 2				
イ 30 日以内の期間	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 人 (0.0)
ロ 31 日以上 60 日以内の期間	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 人 (0.0)
ハ 61 日以上の期間	0	0 (0.0%)	1 (4.2%)	0.0 人 (0.0)
【238】認知症治療病棟退院調整加算	2 (4.2%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)	0.0 人 (0.0)
【B005-1-2】介護支援連携指導料	14 (9.6%)	16 (44.4%)	1 (3.2%)	4.3 人 (4.2)
【B005】退院時共同指導料	18 (6.8%)	8 (22.2%)	1 (3.0%)	3.2 人 (3.1)
【238-2】急性期病棟等退院調整加算	10 (12.5%)	11 (36.7%)	2 (6.9%)	6.6 人 (6.7)
【介護保険】看取り介護加算	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 人 (0.0)

8) 2014年2月のある一日の認知症、または認知症が疑われる患者の状態について

表 3-3-7 に示したように、全ての行動心理兆候(BPSD)の項目について、CN が属する機関の方に患者数が多かった。

表 3-3-7 認知症、または認知症が疑われる患者の状態について

	(人)		
	全体(SD)	CNS(SD)	CN(SD)
1) 行動心理兆候(BPSD)を発症した認知症等患者数(年齢は問わない)	10.8(23.3)	5.9(3.5)23.3)	12.9(27.1)
具体的な行動心理兆候別の人数			
・焦燥、不穏状態	3.3(4.2)	2.6(1.9)	3.5(4.7)
・攻撃性(暴行・暴言)	3.1(7.4)	1.6(1.4)	3.8(8.7)
・叫声	2.8(5.1)	1.7(1.4)	3.2(5.7)
・拒絶、ケアへの抵抗	3.2(5.0)	2.5(1.8)	3.4(5.7)
・活動障害(徘徊、常同行動、無目的な行動、不適切な行動)	4.2(7.6)	2.4(2.1)	4.9(8.7)
・食行動の異常(異食、過食、拒食)	2.5(4.0)	1.7(1.1)	2.7(4.4)
・妄想(ものとり妄想、被害妄想、嫉妬妄想など)	1.8(2.7)	1.1(0.8)	2.0(3.0)
・幻覚(幻視、幻聴など)	2.0(3.5)	1.3(1.0)	2.1(3.8)
・誤認(ここは自分の家でないなど)	3.1(4.4)	2.9(2.1)	3.1(4.9)
・感情面の障害(抑うつ、不安、興奮、アパシーなど)	2.5(2.4)	1.6(0.8)	2.8(2.7)
2) 身体拘束を行った認知症患者数	4.6(5.7)	3.7(2.8)	4.9(6.4)
3) 向精神薬を処方されている認知症等患者数	9.0(10.8)	4.4(4.2)	11.1(12.1)
4) 向精神薬が追加処方、または増量となった認知症等患者数	1.1(1.4)	1.3(1.6)	1.1(1.2)
5) 転倒・転落を生じた認知症等患者数	0.8(1.4)	1.2(2.2)	0.7(1.0)
6) 突然心血管イベントを生じた認知症等患者数	0.1(0.2)	0.1(0.3)	0.0(0.2)
7) 6)以外の病状の急変を生じた認知症等患者数	0.2(0.7)	0.3(0.6)	0.2(0.7)
8) せん妄を発症した認知症等患者数	2.0(2.8)	2.1(1.6)	2.0(3.2)
9) その他(FTD)	1.0(—)	0.0(0.0)	1.0(0.0)

4. 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」の保険の点数化についての意見

1) 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」の提案に賛成か

賛成の回答は CNS : 21 件、CN : 46 件で、CNS では大いに賛成 18(81.8%)、少し賛成 3(13.6%)、どちらでもない 1(4.6%)、少し反対、大いに反対は回答者なし、CN では大いに賛成 37(80.4%)、少し賛成 6(13.1%)、どちらでもない 3(6.5%)、少し反対、大いに反対はなかった。

2) 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」について、保険点数の加算希望

「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」点数への要望点数回答は CNS : 17 件、CN : 31 件あり、CNS の平均は 172.9 点(SD115.3)、CN の平均は 183.5 点(SD189.2)で、ほとんど差異はなかった。